

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和

印省略

平成30年度 実地研修会開催について
「平成29年7月九州北部豪雨の現状・小石原川ダム建設」
～災害復旧に向けた取り組み・ダム建設事業とその機能と役割～

本実地研修会では、平成29年7月九州北部豪雨災害の復旧に向けた取り組みを視察するとともに、膨大な土砂や流木の撤去や改正河川法に基づく権限代行制度の活用、また、小石原川ダム（ロックフィルダム）の建設事業とその機能や役割について学ぶことを目的としています。

なお、本実地研修会は国土交通省の後援のもと実施することとしています。

② 日 程：別紙日程表のとおり

② 募 集 人 数：40名 ※現場の条件により人数制限があります。

③ 研 修 料：一般（非会員）…………… 21,000円（税込み）
正会員・特別会員・賛助会員…………… 18,000円（ 〃 ）
※若手（30歳未満）割引はありません。
※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。
※研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舎の宿泊料は含みません。
現場研修時の昼食代（1,200円）を含みます。

④ 申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、できるだけ所属協会事務局を通じ期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
申込者数が募集人数以内の場合、参加できる旨ご通知します。
申込者数が募集人数を超えた場合、本会にて選考し（地域性を考慮しつつ若手の方を優先）その結果をご通知します。
通知は、11月14日～11月20日頃を予定しています。
研修料の振込みは、本会からの通知の後にお願いします。

⑤ 申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥ 申込締切日：平成30年11月9日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※現在も不安定土砂が堆積する現場の為、天候により「事前の開催中止」や「視察範囲の縮小」があり得ますので予めご了承ください。

※参加者が決定した後の取り消し（返金等）については、原則行いません（「事前の開催中止」の場合を除く）。

※研修料の領収書及び視察資料は当日集合場所にて、参加証は視察終了後にお渡しいたします。

※参加者には、本部で国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

- ・本研修会は、本協会で開催の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として〔聴講：1.5単位、現場研修：3.5単位〕（予定）が取得できます。
- ・技術講習会、実地研修会の情報については、全建ホームページをご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

主催：(一社)全日本建設技術協会 後援：国土交通省

平成30年度 実地研修会 日程
 「平成29年7月九州北部豪雨の現状・小石原川ダムの建設」
 ～災害復旧に向けた取り組み・ダム建設事業とその機能と役割～

本実地研修会では、平成29年7月九州北部豪雨災害の復旧に向けた取り組みを視察するとともに、膨大な土砂や流木の撤去や改正河川法に基づく権限代行制度の活用、また、小石原川ダム（ロックフィルダム）の建設事業とその機能や役割について学びます。

会場 …………… パピオン24 3階「10号・11号会議室」
 〒812-0044 福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2222

(1日目) 開場15:30		平成30年12月6日(木) 【聴講】		(敬称略)
16:00 }	小石原川ダムの建設とその機能や役割について	独立行政法人 水資源機構 朝倉総合事業所 副所長		松岡 義幸
16:50				
17:00 }	九州北部豪雨における九州地方整備局の取り組みについて	国土交通省九州地方整備局河川部 広域水管理官兼 九州北部豪雨災害対策推進室長		みつ ぎき 満 崎 晴 也
17:50				
18:00～19:30 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> パピオン24 2階「レストラン アンド」 RESTAURANT AND				
(2日目) 集合 7:30～		12月7日(金) 【現場研修】		
JR博多駅筑紫口バス駐車場(8:00) 出発 → 筑後川水系赤谷川等の権限代行による災害復旧事業(下車説明) → 筑後川水系赤谷川流域における直轄砂防事業(下車説明) → 昼食(東峰村内) → 小石原川ダム建設事業(下車説明) → 福岡空港(16:15) / JR博多駅(16:30) 着後解散 ※現在も不安定土砂が堆積する現場の為、天候により「事前の開催中止」や「視察範囲の縮小」があり得ますので 予めご了承ください。 ※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。				

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム 【聴講】1.5単位、【現場研修】3.5単位(予定)

平成30年度 実地研修会

(平成29年7月九州北部豪雨の現状・小石原川ダムの建設) 事業概要

1 筑後川水系赤谷川等の権限代行による災害復旧事業 ……………福岡県朝倉市^{はき}杷木・松末地区

平成29年7月5日に発生した九州北部豪雨では、1級水系筑後川右岸流域で福岡県等が管理する中小河川において山腹崩壊が多数発生したことに伴い、洪水とともに大量の土砂や流木が流出し、河道埋塞や家屋等を倒壊させるなど甚大な被害が発生しました。

これらの中小河川流域の地質は、風化花崗岩でマサ土と呼ばれる透水性や流動性が高い性質のため、二次災害を引き起こすおそれが極めて高い状況にありました。

このため、福岡県知事から平成29年6月に改正された河川法第16条の4第1項に基づき権限代行による赤谷川等の災害復旧工事の要請を受け、全国で初めて権限代行制度を適用した国による県管理河川の災害復旧工事を実施しています。

発災直後は、応急復旧工事として緊急的に①河川や河川周辺に堆積している土砂や流木の除去。②河川管理施設や河川周辺の家屋の保護。③河川流路の安定化。を図る工事を実施し概ね平成29年9月末までに完了させました。

現在は、これらの整備効果を確保するため、赤谷川中流部に土砂止め工(仮設)を整備するとともに、地域の安全性をより高めるため下流から追加掘削を行っています。

▼権限代行による東林田地区の応急復旧状況

▼1号土砂止め工



2 筑後川水系赤谷川流域における直轄砂防事業 ……………福岡県朝倉市松末地区

赤谷川流域は、山腹崩壊が多数発生し不安定な土砂や流木が上流部に堆積していることから、権限代行による赤谷川等の災害復旧工事と合わせ一体的に災害対策を進める直轄砂防事業を実施しています。

現在までに、仮設の砂防堰堤工や遊砂土工・強靱ワイヤーネット工を完成させ、本格復旧に向けた砂防堰堤の調査・設計を進めています。

①仮設砂防堰堤工

②遊砂土工

③強靱ワイヤーネット工



3 小石原川ダム建設事業

福岡県朝倉市江川地先

小石原川ダム建設事業は、筑後川水系小石原川の既設江川ダム上流に多目的ダムである小石原川ダムを建設するとともに、同水系佐田川から江川ダム貯水池までの導水施設を建設するものです。

(事業の目的)

1. 小石原川沿川の洪水による被害を軽減します。
2. 小石原川、佐田川及び筑後川を流れる水が少ない時にダムから水を流し、流水の正常な機能を維持します。また、昭和53年や平成6年のような異常渇水時には、緊急用に貯水していた水を放流し、渇水による被害を軽減します。
3. 福岡県南地域の水道用として、新たに毎秒0.65m³の取水します。

(事業の概要)

[小石原川ダム]

形式：ロックフィルダム／堤高：139m

流域面積：20.5km²／貯水池面積：120ha

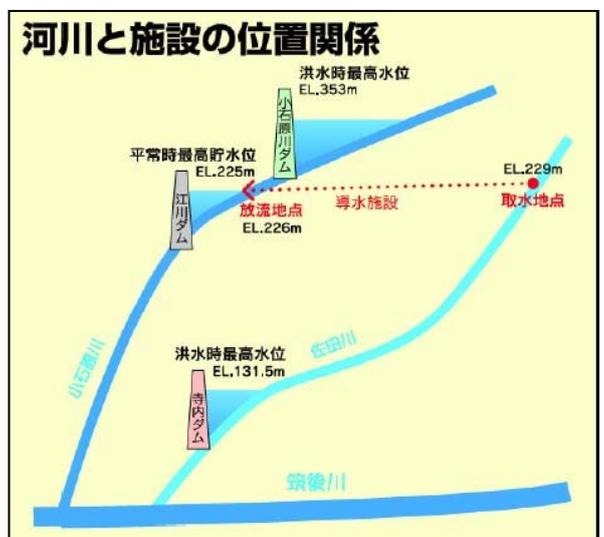
[導水施設]

取水口：福岡県朝倉市佐田（佐田川）

放水口：福岡県朝倉市江川（小石原川）

水路延長：約5km

取水量：取水地点の佐田川の流量が毎秒0.4m³を上回る時で、かつ江川ダムの貯水池に空容量がある時、最大毎秒3.0m³を取水します。



(i-Construction の取組み)

i- Constructionの一環として設計施工、管理各段階において、継続して各種情報を一元管理しながら、水資源機構で初めてとなる本格的な情報化施工に取り組んでいます。

設計CIM／施工CIM／管理CIM／MG機械を使用した施工／3次元計測データによる出来形管理／GNSS測量



(小石原川ダムによる治水計画)

梅雨などで大雨が降った時に、ダム地点で上流から流れてくる洪水を一時的にダムに貯め、ダム下流の河川流量を減らします。これにより小石原川沿川地域の被害を軽減します。

小石原川ダム地点における洪水のピーク流量は毎秒190m³であり、洪水調節により毎秒140m³をダムに貯留し、毎秒50m³をダムから放流する計画です。

洪水調節のための容量として、約410m³を確保する計画です。

幹旋宿泊及び予約申込案内

宿泊幹旋：宿泊幹旋希望者には福岡市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行（株）首都圏営業部 東京団体支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15（JFAハウス5階）「全建担当デスク」迄

（営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の4日前まで	宿泊日の3日前 ～前日まで	当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後 及び無連絡不泊
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成30年12月6日(木)

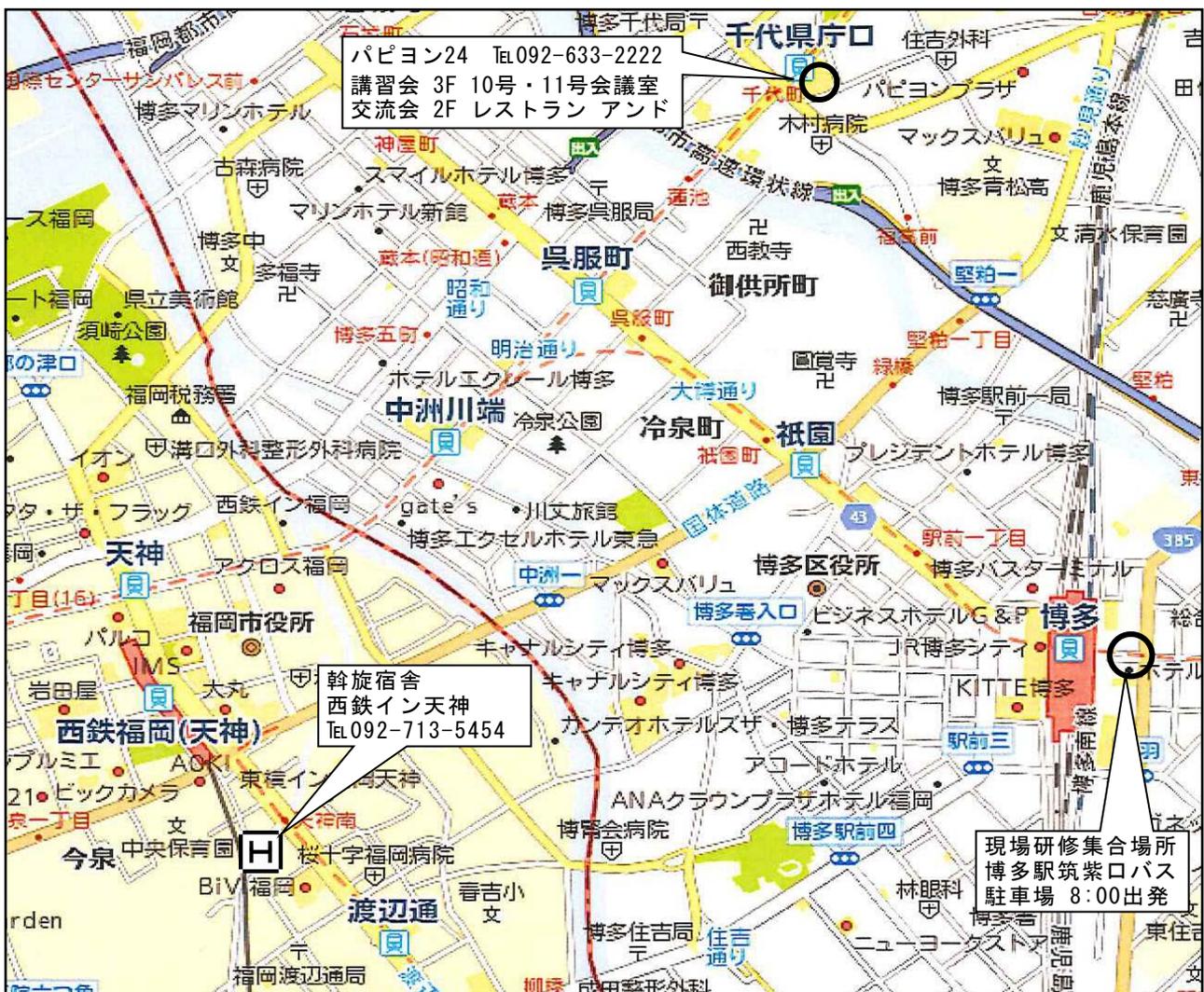
(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	幹旋人数	宿泊代金
西鉄イン天神 福岡市中央区渡辺通4-7-1 TEL:092-713-5454	シングル	17名	8,100円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。

また、禁煙ルームの数には限りがある為、ご希望に添えない場合があります。その場合には、消臭対応をさせていただいたお部屋となります。

案内図



平成30年度実地研修会
(平成29年7月九州北部豪雨の現状・小石原川ダムの建設)に
参加の皆様へ！
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会主催の講習会では、全国から多くの方々にご参加いただいております。この機会を有効に活用するため、参加者同士が連携・交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで、知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、「参加者同士の交流会」を実施しています。さらに、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成30年12月6日(木) 18:00~19:30

場所 : パピヨン24
2F「レストラン アンド」
※聴講会場と同じ建物内

会費 : 2,000円
(受付時に徴収)

※開催時間は変更が生じることもありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装については特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
 (特別・賛助会員名、会社名)

平成30年度 実地研修会
 (平成29年7月九州北部豪雨災害の現状・小石原川ダムの建設) 申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講・現場		交流会	宿泊 12/6 ○禁 ○喫	選考結果
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非 会 員)	正 ・ 特 ・ 賛			
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
※ 一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。 ※ 宿泊料は、実地研修料に含みませんのでご注意ください。 ※ この実地研修会は募集人数が少ないことから、申込み締め切り後に本部より選考結果を通知します。研修料のお振り込みは、その後をお願いいたします。 なお、宿泊申込みは、選考にもれた場合は自動的にキャンセルになります。					交流会費 2000円は現地でお支払い下さい	お宿泊払代金はホテルチェックイン時に	※この欄は事務局が使用します
実地研修料		※この欄は本部事務局が使用します。					
一般(非会員)		名×21,000円＝	円				
正会員・特別会員・賛助会員		名×18,000円＝	円				
			計	円			

【お申込みについて】

↓本部の通知後に全建に振込

必要事項を記入し、期限までにできるだけメール又は郵送にてお申込み下さい。

研修料[銀行振込の(写)]は、本会からの通知後にメール又はFAXにて送付願います。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

申込み締め切り後の参加者の変更はできません。

【実地研修会の昼食について】

実地研修会の昼食は全員用意いたします。不要の申し出は出来ません。